

ご質問とお便りコーナー

～農家からのお問い合わせ～

平成27年に弊会に寄せられた主な質問と回答を紹介します。

Q1

石灰窒素を続けて使っても窒素過多になりませんか？

A1

作物には、それぞれ地域特性に応じて施肥基準が示されており、ほかの肥料と同様に適正施肥であれば継続使用しても問題ありません。石灰窒素は、センチュウ類、ネコブ病、一年生雑草防除などに対して農薬登録がされており、施用量は、センチュウ類では50～100kg/10a、根こぶ病では100～200kg/10a、一年生雑草では50～70kg/10aで、施用時期は、播種前または植え付け前となっています。

例えば、石灰窒素を50kg/10a施用した場合、石灰窒素由来の窒素量は10kg/10aですので、石灰窒素の窒素施用量に見合った窒素量を削減する必要があります。

Q2

石灰窒素は薬害が出るという話がありますが、ほかの作物への障害例はありますか？

A2

石灰窒素は加水分解してシアナミドとなり、このシアナミドは殺虫・殺菌効果のほかに除草効果もあります。したがって、栽培中の作物に追肥などの形で地上部から施用すると、茎葉に石灰窒素が付着して障害を発生するおそれがあります。特に、粉状・防散の石灰窒素は、風によって飛散する場合がありますので注意が必要です。ただし、作物種によって差があり、麦、ネギでは影響が少なく、一定量の範囲内での追肥は可能と考えます。

石灰窒素の施用にあたっては、基肥に施用する場合は、春季・秋季では7～10日、夏季では3～5日の期間をとって播種または定植し、追肥を行う場合は除草などを兼ねて畝間施用し、その後土寄せを行えば、障害なく肥効調節型肥料である石灰窒素の特性を十分に発揮させることができます。

Q3

石灰窒素は「毒性有」とのことで戸惑いながら使用していますが、人体への被害はありますか？

A3

石灰窒素は「劇物」ではありません。散布方法を遵守していただければ安全に使用できます。取扱いについては『石

灰窒素Q&A』の11頁に詳しく記述してあります。特に注意していただきたいのは、夏季高温条件で汗をかいたときに石灰窒素が皮膚に付着すると、人によっては被れることがあります。石灰窒素の施用にあたっては、肌を露出させないことが必要で、防護マスクや手袋などの使用をお奨めします。

Q4

石灰窒素は機械散布ができますか？散布機を紹介してください。

A4

粉状、防散石灰窒素は粒子が細かいため、機械散布には適さず、手播き散布が基本になります。粒状石灰窒素は、片掛け散布器、トラクター設置の肥料散布機で対応できます。なお、石灰窒素は吸湿性があるので、雨天時の機械散布は控えてください。

Q5

石灰窒素を散布した日はアルコール類を飲むなどと言われていますが、本当ですか？

A5

個人差がありますが、石灰窒素を吸い込むと人によっては酒類への耐性が弱くなります。つまり、少量のアルコールでも早く酔いが回りやすくなります。散布後、24時間は飲酒を控えてください。

Q6

石灰窒素の臭いが気になるのですが……。

A6

石灰窒素には特有の臭気がありますが、その臭気は石灰窒素の原料に含まれている微量の硫黄成分によるもので、人体に害をおよぼすことはありません。

Q7

石灰窒素を多用すると土が硬くなりませんか？

A7

石灰が含まれる肥料を連用すると経験的に土が硬くなると言われてしています。石灰窒素も同様ですが、堆肥などの有機物と併用して土壌の物理性を良好に保つ対策が必要です。

「石灰窒素だより」アンケートに寄せられたお便り

●宮城県 菅原様

野菜が非常によく育ちます。根菜類の肌がきれいです。土壌センチュウの害が少なくなりました。よい野菜がいっぱい採れます。有難うございます。

本年の春野菜、夏野菜ともに非常によくできました。バレイショは肌がきれいです。キュウリも春植え、夏植えと2期に植えて、いまだに収穫しています。トマトもハウスに20本植えて、いまだに収穫しています。夏頃は成りすぎて喰えや飲めやとジュースにもしました。病気も出なく虫も少なく、ほとんど農薬は使いません。これも石灰窒素様の力だと信じております。ますます面白くなりました。

●栃木県 高橋様

アグナシなどの除草効果がみられます。稲わら腐熟促進効果は大変よいです。

●千葉県 林様

センチュウの被害に例年悩んでいましたが、石灰窒素を使用してから格段によくなりました。特にダイコンなどの根菜類。

●長野県 島田様

ブロッコリー畑の雑草が減少しました。根こぶ病発生圃が少なくなりました。

●福岡県 西本様

一昨年秋に、10年来荒地だった畑を頼まれて畑として耕しました。そのときに石灰窒素を散布して鋤き、ダイコン、ニンジン、カブなどを植え付けましたが、雑草が少ないのに感激しました。

●鹿児島県 有村様

センチュウ害がひどかったゴボウ畑が、だんだん元に戻ってきました(隣の畑からの流入土による影響)。

3つの機能で、使って安心、収穫して実感! 国産石灰窒素!!



ホームページには、
作物ごとに石灰窒素の
使い方や効果が
わかりやすくなっているため、
とても重宝しています。



日本石灰窒素工業会のホームページをご覧ください。

<http://www.cacn.jp>

日本石灰窒素工業会

検索

ここをクリック!

メルマガも配信中!

メールマガジンにご登録いただくと、石灰窒素の技術情報やトピックスを掲載したメルマガをお届けします。

日本石灰窒素工業会
Mail Magazine
登録はこちら

国産石灰窒素の農薬登録内容

日本国内で生産される石灰窒素は、すべて農薬登録を取得しており、現在、「粒状石灰窒素40(粒)」「石灰窒素50(粉)」「石灰窒素55(粒)」の3剤が流通しています(数字はシアナミドの含有量を表しています)。

●石灰窒素 農薬登録内容(平成27年12月現在)

作物名	適用病害虫(雑草)名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰窒素を含む農薬の総使用回数
水 稲	ユリミミズ	40~60kg/10a	は種前 又は植付前	1回	散布後土壌混和	-
	ザリガニ	20~30kg/10a	植代前		散布 荒耕し後3~4cmに湛水し、3~4日後全面に散布、3~4日放置後植代を行う。 (漏水を防止すること)	
	スクミリンゴガイ		刈取後 (水温15℃以上の時期)		散布 3~4cmに湛水し、1~4日後全面に散布、3~4日放置する。 (漏水を防止すること)	
	水田一年生雑草	50~70kg/10a	は種前 又は植付前		散 布	
	ノビエの休眠覚醒 (湿田及び半湿田)	40~50kg/10a	水稻刈取後 1週間以内		全面散布	
れんこん	スクミリンゴガイ	60~100kg/10a	植付前	散布後土壌混和 (7日以上放置後植付を行う)		
はくさい キャベツ	根こぶ病	100~200kg/10a	は種前 又は植付前	散布後土壌混和		
野菜類*1 豆類(種実) いも類	センチュウ類	50~100kg/10a	は種前 又は植付前	散布後土壌混和		
	一年生雑草	50~70kg/10a		散 布		
麦 類			は種前			
桑	カイガラムシ類 胴枯病	温湯10L当り 400~800g/10a	7月下旬~ 10月上旬	上澄液を株又は枝条の 基部に散布する。		

作物名	使用目的	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰窒素を含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
ばれいしょ*2	茎葉枯凋	10~15kg/10a	100L/10a	茎葉黄変期	1回	茎葉散布(上澄液)	-
			-			茎葉散布	

*1 野菜類には豆類(未成熟)が含まれます。

*2 「石灰窒素50」粉状品のみ登録です。